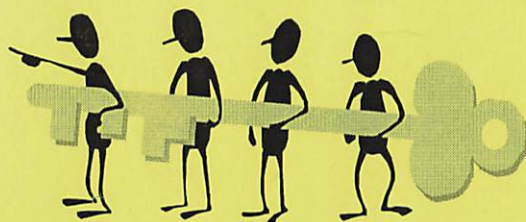




1997 年度卒業記念

# どこでもドアのかぎ 2





ほんものの本の中には、たくさんのものが詰まっています。

ほんものの本は、知識や理解を与えてくれるだけでなく、夢や、冒険や、驚きや、発見や、謎解きの楽しさや、感動や・・・とてもここには並べきれないほどの、数々の贈り物を私たちに与えてくれます。ほんものの本は、たとえ手の上に乗るほど小さくても、一つの世界を、一つの宇宙を持っています。

そういう本との出会いは、幸せなできごとの一つですが、あふれるほどの本がある中で、ちゃんと出会うためにはどうすればよいのでしょうか。手当たりしだい、読めるかぎりの本を読みますか？幸運に恵まれるよう祈りますか？それも結構、でももう一つ手段がありました。出会ったことのある人に聞いてみましょう。

そこで、県短生協教職員委員会が、皆さんに代わって、教職員の方々にお聞きしてみたら、ごらんの通り、色とりどりの本が集まりました。80冊の本が、80の世界がここにあります。

そして、本の表紙はその世界に通じる扉なのですから、扉を開ければ、あなたはそのまま別世界に旅立てるのです。そう、まるで「どこでもドア」のように。

それでは、あなたの手で開かれるのを待っているたくさんの扉たちをご紹介します。

1998年3月／県短生協教職員委員会



## 目次

飯田 規和	(学長)	1
本間 善夫	(生活科学)	2
山岸 明浩	(生活科学)	3
坂口 淳	(生活科学)	4
石原 和夫	(食物栄養)	5
佐藤 恵美子	(食物栄養)	6
笠原 賀子	(食物栄養)	7
太田 優子	(食物栄養)	8
徳橋 二三男	(生活福祉)	9
斉藤 美和子	(生活福祉)	9
姉齒 暁	(生活福祉)	10
植木 信一	(生活福祉)	10
松木 真言	(幼児教育)	11
大桃 伸一	(幼児教育)	12
金澤 妙子	(幼児教育)	13
原野 明子	(幼児教育)	15
大橋 儀隆	(英文)	17
福嶋 秩子	(英文)	18
太田 正之	(英文)	20
岡村 仁一	(英文)	20
佐藤 英志	(英文)	21
石栗 彩子	(英文)	22
渡辺 淑子	(国際教養)	24
中澤 孝之	(国際教養)	25
城山 正幸	(国際教養)	26
板垣 俊一	(国際教養)	27
熊谷 明泰	(国際教養)	28
波田野 節子	(国際教養)	31
木佐木 哲朗	(国際教養)	32
石川 伊織	(国際教養)	33
黒田 俊郎	(国際教養)	36
水上 則子	(国際教養)	37
柳町 裕子	(国際教養)	39
高久 由美	(国際教養)	40
桜沢 祐子	(コンピュータ演習室)	41



## おろしや国 酔夢譚

井上靖

徳間文庫・文春文庫

今から 200 年も前にシベリアとヨーロッパ・ロシアを横断し、日本人で初めて当時のヨーロッパ文明に接し、合計 10 年の歳月を費やしてふたたび日本に帰って来た大黒屋光太夫の行状記が面白くないはずはありません。

## シベリア追跡

椎名誠

集英社文庫

200 年前の大黒屋光太夫の足跡を現代という時代にたどった話です。井上靖著「おろしや国酔夢譚」とセットにして読んで下さい。それにできましたら、大本の桂川甫周著「北極聞略」(岩波文庫)もちょっとのぞいてみて下さい。面白いですよ。





## 奪われし未来

Theo Colborn  
John Peterson  
Myers and Dianne  
Dumanoski 著  
長尾力 訳

翔泳社(1997)

文明の裏側で人間が垂れ流してきた汚染が、多くの生物と私たち自身の“生き続ける力”を奪い取っている、衝撃の現実。残された道はあるのだろうか。いま一度、私たち自身の暮らし方を考えてみませんか。

## 愛華、 光の中へ

坪田愛華・陽子 著  
朝日出版社(1996)

私たちに環境問題を突きつける『地球の秘密』(AIKA委員会・刊 1992)を残して逝った12歳の少女、坪田愛華ちゃん。この短大から、愛華ちゃんに続く人材が育ってくれたら、と日々思っています。

生活科学科  
生活科学専攻

山岸 明浩

## 快適環境の 科学

大野秀夫・堀越哲  
美・久野寛・土川忠  
浩・松原斎樹・伊藤  
尚寛

朝倉書店

この本は、一般に多用される「快適」ということについて、「快適」とはどのようなことなのかについてわかりやすく解説するものである。具体的には、1. 快適の種類と歴史、2. 人間と快適さの関わり、3. 快適なデザイン、4. 地球環境時代における快適さといった内容で構成されている。

卒業を控え、各人が責任ある社会人として自立するにあたり、これまで人間が求めてきた「快適性」の意味についてしっかりと自覚し、今後どの様に一人一人が社会生活を営むのかについて深く考えて欲しいと願う。

## ヒート アイランド

齋藤武雄 著  
講談社ブルーバック  
ス 860円

近年、地球の温暖化が叫ばれています。

最新の都市気候学を平易に書かれている名書。

「2031年、東京都心部の気温は43.5℃」とショッキングなことが書かれています。地球の温暖化は我々一人一人にも重大な影響を及ぼしています。一見の価値あり。

## 雪はじゃまも のか？

鈴木 哲 著  
ポプラ社

川端康成が「雪国」を書いて以来、新潟は雪深い山村のイメージが根付いてしまいました。みなさんは雪について知っていますか。克雪から利雪の動きが見られます。雪と都市の関係、雪降ろしについて学んでみませんか。

## 理科系の英語 読本

志村史夫 著  
丸善ライブラリー

理系の知識と英語力を同時に高められる(かもしれない)本です。

子供向きに書かれた易しい英語で科学現象を解説しています。

英語の堪能な人には、理系の知識を。理系の人には、英語の表現方法を学ぶのに最適？

## 食の新視点・ ライフサイエ ンスとしての 栄養学

木村 修一 著

発行：明治製菓

発売：牧羊社

1400円

いまの日本の食品マーケットには、世界各国から輸入された食品やさまざまに加工された食品などが多く出回っている。また、売らんがためのコマーシャルをはじめ食に関する情報が氾濫している時代でもある。このような状況の中で食に関する書籍を選ぶとすれば、まず、学問的根拠に基づいて著されているかどうかであろう。本書の著者・木村修一は昭和女子大学大学院教授・東北大学名誉教授であり、著者自身「本書は科学的根拠に基づいたオーソドックスなもので奇をてらったものではない」と述べている。一例をあげれば、動物実験に基づいて「親が食べなければ子どもも食べない」という記述箇所があるが、いずれ親になるであろう学生の皆さんにぜひ一読を薦める。



## 典座教訓 赴粥飯法

平野正章訳

徳間書店

典座教訓（てんざきょうくん）とは道元が永平寺にて食物を作る立場にある人の心構えを示し、食事の調え方、食事の作法を説いたもので、赴粥飯法（しゅくはんぼう）とは食事をいただくものの心得と感謝を込めた食事訓である。調理をすることは尊い仕事であり、典座（調理をする職）に最高の地位を与え、食べ物に敬意の気持ちをいだかせている。食べ物に不自由しない現代において「医食同源」の大切さと精神的な健康と心得の美しさを改めて見直してもよいのではないのでしょうか。平野先生がわかりやすく解説しておられます。

生活科学科  
食物栄養専攻

笠原 賀子

## 森田療法

岩井寛

講談社現代新書

この本はガンに冒されて逝った岩井氏の最後の著書、生の最後の報告書である。「自分が可能な限り、目が見えなくても、耳が聞こえなくても、身体が動かなくても、“人間としての自由”を守り通してゆきたいのである」

## カラスケツ 子生理学

永田ほか

広川書店

お絵描きしながら、楽しく生理学を学ぼう！！



## 星の王子さま

サン・テグジュペリ

「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目に見えないんだよ。」この文章との出会いによってもたらされたものが、私にとってはかけがえのないものです。何かに行き詰まった時に、もう一度読み返してみてもいいでしょうか。

## 少年H

妹尾河童

伝えることのむずかしさ・伝えられないことのもどかしさを痛感する今日このごろです。戦時中を追体験するためにも、ぜひ伝えたい本がこの「少年H」です。河童さんの飽くなき好奇心には日頃から敬服してきましたが、彼の少年期のありようを垣間見て、そのエネルギーの源に妙に納得してしまいました。私自身、はやく我が子にも読みこませる日（伝えられる日）を、楽しみに待っています。

生活科学科  
生活福祉専攻

徳橋二三男

## 高村光太郎の フェミニズム

駒沢喜美 著  
朝日新聞社（朝日文庫） 1992年

智恵子の方により興味があるのですが、智恵子を知る上からも光太郎に対する少なからぬ興味があります。今の若い女性は、光太郎のフェミニズムをどのように思うのでしょうか。

生活科学科  
生活福祉専攻

斉藤美和子

## 子どもと悪

河合 隼雄  
岩波書店

今程、子どもを取りまく環境が大きくクローズアップされていた時代があったでしょうか。「いい子」を育てようと教育に熱心な社会では、子どもが創造的・個性的であろうとすることが悪とされたりしています。母親になる前に是非！

生活科学科  
生活福祉専攻

姉齒 暁

## 「血液型と性格」の社会史 (血液型を信じているあなたへ)

松田 薫  
河出書房新社

血液型で人間の性格が異なると信じ込んでいるあなたに是非とも読んでもらいたい一冊。「あなたは A 型だから」とか「O 型の彼氏は合わないの」という前に「ちょっと待てよ」という疑いの気持ちを持って欲しい。人間たった4つの性格に分類できるほど単純なものなのか？いつからこういうことがいわれるようになったのか？どのくらいのデータがもとになっているのか？歴史をさかのぼってみるとあなたの知らない恐ろしい世界が広がっているかも知れない。疑う心は若者の一番大切な持ち物かも知れないのだから。

生活科学科  
生活福祉専攻

植木 信一

## コルチャック 先生

近藤二郎 著  
朝日新聞社 1990年

1942年8月、先生と大勢の子どもたちは貨車に乗せられる。行く先はトレ布林カ収容所のガス室だ。乗車の直前に、あなただけは乗らないでよろしい、というナチスの司令官の伝達（恩赦）が届く。だが、コルチャック先生はそれを退けこう言った。あなたは間違っている、まず子どもたちを。そして、彼は子どもたちと一緒に貨車に乗り込んだ。



## 三国志

吉川英治  
講談社

吉川「三国志」のもとになっている「三国志演義」は後漢末の三国の鼎立期から、晋による統一に至る百年余の興亡史を叙した歴史物語である。史実そのものというより歴史ロマンとして読み継がれ、民衆の間に夢を培ってきた。吉川英治は、その「演義」をもとに彼なりの一大叙事詩を繰り広げている。私は、そうした吉川文学の楽しさももちろんだが、この「三国志」に百出する私たちの言語生活に欠くことのできない、四文字熟語の由来や歴史的背景や意味合いが良くわかるので、是非一読をお勧めする。

## こころと からだ

五木寛之  
集英社

気持ちよく生きて死ぬには、どうすればよいか。健康幻想を排し、心と体のコミュニケーションを大切にすべきだ。そして、自分にとって良い加減を見つけることこそ大切だ。という事を彼自身の実践・実感してきたことを率直に綴っている人生哲学書であり、読み手を何時の間にか納得させるから不思議だ。



**生きがいについて**

神谷美恵子  
みすず書房

女性として人間として美しく生きた神谷美恵子さん。本当の自分を探そうとしているあなたにおくりたい彼女の珠玉の作品です。

**太陽の子**

灰谷健次郎  
理論社

「何度も涙を流しながら読み、心が洗われる」作品（学生のreportより）です。まだ読んでいない人は、是非読んでほしい作品です。



## 保育の体験と 思索

津守真 大日本図書

幼稚園・家庭において子どもを理解するということは何かについてとても示唆に富む一冊です。子ども理解のバイブルっていえるかも…。

## 子どもの世界 をどう見るか

津守真  
NHKブックス

保育の体験と思索を読んでみた人はまた深めて下さい。統合保育等における子どもの見方にも新たな地平をひらいてくれるはず。

## 大学教授その あまりに日本 人的な

桜井 地人書館

みなさんが本学で出会った大学教授とは、さて…？

## 倉橋惣三 その人と思想

津守真  
ミネルヴァ書房

過去の偉人ではなく、今に脈々と生きる倉橋とはどんな人かをコンパクトにかつ、生々しく知ることができます。

子ども教育

保育実践

# 保育者の地平

子どもに携わって生きる気構えのあなたに…

津守真  
ミネルヴァ書房

# 育ての心

倉橋惣三  
フレーベル新書

# こどもの音楽

森田  
東京大学出版会

# 幼稚園真諦

倉橋惣三  
フレーベル新書

# 世界のまじり

佐々木  
東京大学出版会

# のちの教育

本日  
岩波書店

# 三思謝意

藤田  
東京大学出版会



## ヒトはなぜ子 育てに悩むの か

正高信男著

講談社

卒業まででなくとも、卒業して子育てをしながらでも読んでほしいのがこの一冊です。多分子育てには直接に役には立たないと思いますが（子育ては本等の知識にとらわれてしないほうがいいと思いますので）、子育てを違った角度から見て、楽しめるのではないのでしょうか。

著者は、動物学の専門で、サルの子育てと人間の子育てを見ながら感じたことを出発点としてこの本を書いたようです（サルとの比較の詳細は、「0歳児がことばを獲得するとき」中公新書参照）。本書では、母親の赤ん坊に対する語りかけの声は平常の声よりなぜ高いのか、父親の声の役割とは何か等を具体的な調査をもとに考察したり、歴史の中での子育て観についても簡単に述べられています。子育て情報にふりまわされそうな時に読むのもいいかもしれません。

## 子どもは小さな 哲学者

G.B.マッシューズ著

鈴木晶訳

新思泉社

「パパ、全部が全部夢だってわけじゃないことが、どうしてぼくたちにはわかるの？」子どもが発した疑問を、ドキッとしつつも大人は笑い飛ばしてしまいがちです。しかしよく話を聞いてみると、子どもは自分なりの理論で考えをすすめていることがわかります。そしてそれらは何と昔の哲学者たちが真面目に考えていたことであることも、この本でわかります。

何でもが当たり前だと思って思考を止めてしまっている人におすすめの一冊です。



## 天才たちは学校がきらいだった

トマス・G・ウェスト著  
久志本克己訳

講談社

フアラデー、アインシュタイン、ルイス・キャロル、エジソン、ダ・ヴィンチ等の学校での成績とその後の業績をもとに、「学校教育」について考える一冊です。こじつけている面もなきにしもあらずですが、学校がどのような人間を育てようとしているところかを一考する際の参考になると思います。また、記述された偉人(?)たちの思考の様式を垣間見ることでもでき、自分の思考様式をふりかえる面白さもあると思います。

## イタリア古寺巡礼

和辻哲郎  
岩波書店

著者がイタリアを訪問したときの覚え書きをまとめたものです。この本を読むと2つの驚きがあります。1つは、昔の人はなんとゆったりと余裕を持って旅をしていたのだらうということ。もう1つは、当時と現在では書かれているイタリアの様子（建物や街のつくり）が殆ど変わらないこと。日本人の旅行はあわただしいと言われるのは、昔からそうだったわけではないことがよくわかります（もちろん、海外にでられた人は特に裕福だったからでしょうが）。イタリア旅行をする前、もしくは帰ってきてから読むとより納得できる本です。

## システイーナのミケランジェロ

青木 昭  
小学館

バチカンのサンピエトロ寺院にあるシステイーナ礼拝堂に描かれた天井画と壁画（最後の晩餐）が、日本テレビの協力で修復されました。その時の様子と天井画、壁画の内容の話、ミケランジェロの生涯について豊富な写真を交えてわかりやすく書かれています。ミケランジェロは、彫刻の専門でありながら法王の命令により、33歳の時に天井画を描きました。そして60歳を過ぎて、祭壇正面の絵を描きました。人間の可能性の大きさをまざまざと見せつけられる絵ですが、より詳しく面白く見るためにはこの本を持参すると面白いと思います。卒業旅行でイタリアを訪れる人には必携（もしくは必予習）の一冊です。



## ユダヤ人

J.P.サルトル

岩波新書

嫌な人の名前、グループ名を「反ユダヤ主義者」の所に入れてみると、喧嘩せずすみませう。鋭い感性の持主だった友人が「女性」と入れかえればよいと言いました（彼は失恋直後だったのです）。

## ホビット ゆきてかえり し物語

J・R・R・トール  
キン

原書房 ¥2300+税

トールキンは古英語・中英語を専門とする言語学者で、オックスフォード大学で教えていましたが、こどものために書いたファンタジー小説が世界のベストセラーになりました。長編『指輪物語』は文庫本でも出ていますが（理論社?）、まずは『指輪物語』の原点『ホビット』を読むことをお勧めします。この本は昨年暮れに出版された新訳です。まだトールキンに出会っていないあなたには格好の入門書となるでしょう。オリジナルの著者自筆の美しい挿し絵に加えて各国語版の挿し絵がふんだんに使われていますし、詳しい注釈がついていますので、文献学的興味や書誌学的興味をもっている人も満足できます。本屋で一度手にとってみてください。

## 日本語ウォッ チング

井上史雄著

岩波新書 ¥660+税

「起きれる」「起きられる」のどちらを使いますか。「いいじゃん」の「じゃん」はどこから来たのでしょうか。新しい方言が生まれているのを知っていますか。この本は、日本語で今起きている様々な変化を豊富な言語調査データで示し、明解に説明しています。日本語の今が見えてくる本です。

# 言葉は社会を 変えられる 21世紀の多 文化共生社会 に向けて

宇佐美まゆみ編著

明石書店 ¥2800+  
税

ことばはそれを話す人の人となりをあらわします。ことばは社会を反映します。また、ことばは人や社会に影響を与えることもあります。ことばの問題は実は日本社会の問題なのです。

この本では、日本語が内包する様々な社会的・文化的価値観に気づいた著者（日本語教育に携わってきた）が、8人の対談者とともに、言語のマイノリティ（少数者）の視点から日本語を語り合っています。とりあげられているのは、「女言葉」「方言」「差別語」「敬語」です。日本語に興味のある人、マイノリティの問題に目を向けたい人にぜひ薦めたい本です。

英文学科

太田 正之

## 裏日本—近代 日本を問いな おす

古厩 忠夫  
岩波新書

「裏日本」とは私が小学生の頃耳にしたことのある、日本海に臨み雪の多い地域を指したことばです。われわれが住んでいる新潟も当然含まれていました。この死語とも言える「裏日本」の正確な定義はともかく、実体としての「裏日本」は県内に今なお存在しています。

「裏日本」がどのように形成されていったかという視点から近代史を問い直し、今後日本が進むべき方向を説いた本です。

英文学科

岡村 仁一

## 欲望という名 の電車

テネシー・ウィリアムズ著  
小田島雄志訳  
新潮文庫

アーサー・ミラーの『セールスマンの死』と共に並び称せられる戦後アメリカ演劇の最高傑作。ヴィヴィアン・リーとマーロン・ブランドの主演で映画化されたこともある。この作品が、シェイクスピア全集で有名な小田島雄志氏の訳で読める。不幸な過去を持ちながらも必死に生き、幸せを掴もうとする女主人公、ブランチの "I don't tell truth, I tell what ought to be truth." 「私は真実は語らない、真実であるべきことを語るの」という訴えを我々はどう受けとめたら良いのであろうか。



## 知的複眼思考 法

苅谷 剛彦著

講談社 ¥1456

より良いレポートを書くために、何をどのように考えて、いかにそれを文章に組み立てていけばよいのか。学生時代に誰もが抱える悩みの一つでもあり、また醍醐味でもあります。この本はそんな悩みに対して鮮やかな答えを与えてくれる画期的な本です。物事を客観的に観察して、それをはっきりした問立てに結びつけ展開していくことのおもしろさと、そのノウハウをわかりやすく解説しています。問題にぶつかったときに、何度でも気軽に読み返して欲しい本です。

## 万延元年のフットボール

大江健三郎  
講談社文庫

大江文学といえば今も昔もやはりこの小説を抜きには語れません。冒頭からなぜか主人公が穴ぼこに入っている！あの衝撃は忘れられない……？

## 城

カフカ  
新潮社文庫

フォークナー、ドストエフスキーと並んで私が勝手に世界三大作家と呼んでいるカフカの数少ない長編のうちの一つ。迷路のような世界は幻想的というよりすごくリアルです。

## インディヴィジュアル・プロジェクト

阿部和重 新潮社

90年代ラストを飾る新進作家で大注目の阿部和重。通俗性と実験性を絶妙にからめた快作です。同系列では奥泉光の「パナールな現象」もお勧めです。

## 悲劇の誕生

ニーチェ 岩波文庫

ニーチェ初期の作品ですが、挑発的で刺激に富んでいます。新しい訳のものもでていますが、岩波文庫のものなら古本屋でも100円くらいで買えます。

## 性の歴史

<1>

## 知への意志

フーコー 新潮社

さまざまな事象の歴史を再発掘するフーコーですが、晩年のこの作品は読みやすく、美しいイメージに満ちています。特に性の問題を扱っているので、女性にとっては目を開かれるところが大きい本です。



## ハムレット

シェイクスピア  
新潮社、白水社、ち  
くま文庫ほか

シェイクスピアの作品は、400年ほど前に書かれたものでありながら、色あせずに、現代人の心に刺激を与えてくれます。一冊だけ推薦をというのであれば、最も有名な悲劇「ハムレット」をあげましょう。(ケネス・ブラナー監督・主演の映画ハムレットも、今、話題を呼んでいます。) 翻訳は、坪内逍遙をはじめとして、福田恒存訳(新潮社)、小田島雄志訳(白水社)、最も新しいものでは松岡和子訳(ちくま文庫)など、沢山あります。



## 帝国解体前後

枝村 純郎著  
都市出版

・ゴルバチョフ政権の対日政策はどのようなものだったか・90年から94年までにソ連（ロシア）で何が起きたか・外交官の仕事は何かーがよく分かる本です。

## ゴルバチョフ 回想録 (上・下)

M.ゴルバチョフ  
新潮社

世紀の革命「ペレストロイカ」とは何であったのか、を詳細に解説した歴史的な文献です。



## 権利のための 闘争

イェーリング著  
村上淳一（新）訳  
岩波文庫

我が国には、「権利」を主張しないでひっそりと生きるのが美德であるかのように考える人がまだにいる。「智に働けば角が立つ」というのだろう。しかし、本当にそうだろうか？「権利」や「法（秩序）」についての認識を新たにし、そして、たくましくも洗練された人生を真摯に送って欲しいと念じながら、本書を薦める。

## コモン・センス

トマス・ペイン著  
小松春雄訳  
岩波文庫

1774年、請願と論争と騒乱の10年を経過して、新大陸でついに武力衝突が起こった。本国イギリスの耐え難い暴政に対して植民地の人民が「イギリス国王の臣民としてのそれではなく人間としての権利」を主張し始めたのだ。これはまさに『独立革命』への第一歩だった。植民地の人々を『独立』へと奮い立たせる原動力となったのが本書だと言われている。不条理や抑圧に対する怒りと抵抗は、どんなに激越で壮大であっても、常に、素朴にコモン・センスに基礎を置いている。

悔いのない清冽な人生を送らんとする諸君に、本書を薦める。

## 中村久子の生涯・四肢切断の一生

黒瀬 管次郎

致知出版

中村久子・・・1897（明治30）年 岐阜県に生まれる 1994年没

伝記ですので、内容は難しくありません。自分の人生を少し考えて見よう、と思っている学生の参考になると思います。残念ながら、本学図書館の、本年度の学生推薦図書からは漏れてしまいました。

## 韓国語はじめ の一步まえ

金 裕鴻著

株式会社ディーエイ  
チシー(1996年)

本書の題名を見ると朝鮮語の学習書のように思われるが、決してそうではない。ところで、ある外国語の習得には、その言語文化圏が抱え持つ思考・行動様式への理解も伴わなくてはならない。そうであってこそ、単に「べらべら」と口先だけの外国語、あるいは外国人の真似事の域を脱し、「外国語」でありつつも話者自らの言語レパートリーの一つとしての命を吹き込むことが出来るようになるのだと思われる。本書のタイトルはそうした意味で付けられたものであろう。言葉には本来「国籍」などないのであって、日本国籍人が朝鮮語をバイリンガルに話せるようになるということは、朝鮮文化とのバイカルチャーをみずから体得する過程であろうと思う。だから、論理的に言えば、朝鮮文化を受け入れたくないと思う人は決してバイリンガルにもなれない。本当にバイリンガルになりたければ、技術や時間の側面だけでは達し得ないことなのだと思う。著者は20歳の頃に来日し、明大大学院を修了してからNHK国際放送局で30年以上勤務し続けている、日本の事情に詳しい韓国人である。本書では単なる耳学問ではない著者自身の豊富な体験に基づき、日本社会と韓国社会における認識様式、行動形態の相違が論じられている。読者である私自身、本書を読みながら韓国社会で経験したさまざまなことが懐かしく思い出される。そして、「知ったかぶりをするんじゃないよ」と反発を覚えてしまう本が多い中で、本書は著者自身の言葉を借りれば「雑学」の所産であるとはいえ、甚に溢れる「際物」的な日韓比較文化論の如き借り物の議論ではないことが分かる。著者の思考と経験の厚さを感じさせてくれる好著である。

## コリアン世界の旅

野村 進著

講談社(1996年)

日本を出発点として数多くの朝鮮系の人々取材しながら、アメリカ、ベトナム、韓国をめぐる再び日本に戻るこのルポ集は、「コリアン世界の旅」というタイトルにも表現されているように、著者が世界の旅を終えて再び在日朝鮮人の世界に立ち戻って、新たな認識にたどり着く軌跡を描き出している。著者は「あとがき」で「私はただ、すぐ隣にあるが見えなくされてきた世界に、足を踏み入れただけだった」と記しているが、著者が「朝鮮問題」の外野にいたからこそ、ある種のしがらみから自由な位置で取材し、筆を走らせることで出来上がった本だといえる。在日朝鮮人の世代交代、日本での永住化が既定事実化する過程で、1970年代から「第3の道」論など、在日朝鮮人の生き方をめぐる議論が今日まで展開され続けている。著者はこうした議論における従来の思考の枠組のいずれにも組まない中から、帰化の問題、本名使用の問題など、在日朝鮮人の生き方をめぐる問題、在日朝鮮人と如何に向き合うのかといった問題において、型通りの「民族」と「国家」に縛られない議論のベースを提供した点において、本書の歴史的意義が認められるだろう。

## ことばと国家

田中克彦著

岩波書店(1981年)

「言語」とは何か、「言語学」とは何かといった根本的な問いかけをもとになされた本書は、日本の「近代言語学」の視野の偏狭さを撃つと試みた作品のひとつでもある。「日本の言語学が、部分のドレイでしかない」と断言する著者は、言語学界からは異端児扱いを受けているが、細分化、特殊技術化、厳密性の競争の世界に落ち込んでいる日本の言語学に、本来あるべき学問の精神を吹き込もうとする著者の学問的姿勢は、近代ヨーロッパの諸文献、アルタイ世界の文献を深く渉猟したベースの上に構築されたものであって、思い付きの「戯言」では決してない。こうした学問的軌跡に基づいた上でなされた、20世紀末の日本の言語学の無思想性に対する挑戦と評価しても過言ではないと思う。



## アジア読本 韓国

伊藤亜人著

河出書房新社(1996  
年)

著者は1970年頃から韓国全羅南道珍島(チンド)を主なフィールドにして調査を進めてきた文化人類学者である。本書は李氏朝鮮王朝500年の間に築かれた朝鮮における儒教的文化伝統や、その父系血縁組織をキーワードとして現代韓国社会を読み解こうとしている。そして、韓国人や韓国社会にある程度接していると必ず見聞される様々な社会現象、文化現象を詳細に取り上げており、韓国社会を知れば知るほど、ますます興味を抱かざるを得ない記述に満ちている。それゆえか、なぜ自分は韓国の文化人類学を専攻しなかったのかと、心と悔やみにも似た思いにさせられたりもする本である。ただ、著者はひたすら儒教的文化伝統から韓国社会における諸現象を説明することに徹している感があり、文化人類学にとって門外漢である私には、「果たして、それだけでいいのだろうか?」という疑問は残る。ともかくも、朝鮮文化に関心を抱く人にとっては必読の1冊であろう。





## アジアの都市 と建築

加藤祐三  
鹿島出版会

アジアの20あまりの都市にある近代建築が地図と写真入りで紹介されている本。値段はちょっと張るけれど（本体2800円）、軽い素材で作られているので気軽にもっていけます。私はこの本と一緒にソウル、仁川、それに上海を歩きました。都市の現在の顔の後ろに隠された歴史が楽しめます。

## 朝鮮王朝実録

朴永圭・神田聡他訳  
新潮社

朝鮮王朝27代の王たちの膨大な記録がジャーナリスト出身の作者によって一冊にまとめられました。漢字の羅列とそのボーダイさに敬遠していた朝鮮実録がこんなに簡単に読めるなんて感激！ 韓国語コースの学生は、朝鮮事情で学んだあの時調の背景になっていた歴史的な事件を詳しく知ることが出来ます。しかし王朝の記録ってどこの国でも権謀術数であふれかえっているものなんですね。



## イシ・北米最 後の野生イン ディアン

T.クローバー著  
行方昭夫訳

岩波書店

イシは、今世紀初め白人による虐殺で、ヤヒ族ただ一人の生き残りとなり、文明社会に迷い込んできた。彼はすべてを奪われたにも拘わらず、純真な魂と寛容な心をもち続けていた。彼は知的な紳士であり、その高潔さや聡明さで、我々に多くのことを教えてくれる。未開と文明という二つの世界を考える上でも、示唆に富んだ優れた書物である。

## 女の文化人類 学・世界の女 性はどう生き ているか

綾部恒雄編

弘文堂

世界各地のごく普通の女性の一生を、その地に生活した経験をもつ女性たちが紹介した民族誌である。「女性はどう生きるべきか」ということよりも、各文化の女性たちが現実に「どう生きているか」という事実を、まず知らなければならない。西欧起源の“女性解放論”や“一元的指向”から脱却し、様々な女と男の関係を含め多元的な価値観を学ぼう。



## アニメーションの色職人

柴口育子  
徳間書店

スタジオ・ジブリの色彩設計担当の総責任者・保田道世さんの仕事と彼女の半生の記録。女性の仕事について考え悩んでいる人、アニメーションに関心のある人に、特にお勧め。アニメーションの色彩設計って、絵の具を作るところからはじまるんですって。すごいでしょ。

## 明和電機 魚器図鑑

土佐正道・土佐信道  
NTT 出版

土佐兄弟の考案する珍妙な楽器のカatalog。彼らは自分たちを電気屋さんだと言っています。「明和電機」も、元はというと彼らのお父さんが経営していて潰してしまった電機会社の名前。彼らのチームでキーボードを弾いたりしている人は「経理担当社員」だそうです。電機仕掛けなのに妙にエスニックな変な楽器の変な音を聴きたい人は、ちゃんとチケットを買ってライブに行きましょう。

## ぼくらの鉱石 ラジオ

小林健二  
筑摩書房

電池も電源も要らないラジオを知っていますか？ダイオードとコイルとコンデンサとイヤホンさえあれば、誰にでもラジオが作れるし、ラジオを聞けるのです。電波が宇宙の波動なら、人間の体は天然のラジオです。ラジオを聴く人は、ラジオから流れる音声や音楽と一緒に、宇宙の鼓動をも聴いているのでした。鉱石ラジオの科学的な原理の説明と、ラジオをめぐる夢とが美しく合体した好著。

## 野草

魯迅著 竹内好訳  
岩波書店

絶望している人は読みましょう。あなたの絶望はもっと深くなるはずですが、でも、魯迅の真骨頂は絶望を突き抜けているところにあります。「絶望の虚妄なることは、まさに希望と相同じい」。恐ろしくも深い洞察ではありませんか？

## カテドラル

デビット・マコーレイ  
イ  
岩波書店

シュトローという架空の街に建設されるゴシックの大聖堂の物語。中世後期のヨーロッパのゴシック建築の建て方、様式、教会の制度がよくわかります。建築に関心のある人、キリスト教に関心のある人におすすめ。

## 天球図の歴史

ピーター・ウィット  
フィールド  
大英図書館ミュージ  
アム図書

美しい本です。天動説が信じられていた古代から、地動説以後の近現代までのたくさんの天球図がカラーで紹介されています。それにしても昔の天球図は美しい！ 姉妹図書に、同じ出版社の『世界図の歴史』があります。

## 薔薇の名前 (上下)

ウンベルト・エーコ  
創元社

本年度の前期の授業でも使った本。僕が紹介している本の中で唯一哲学っぽい本だけれど、でも実はおちゃらけですね。物語の中に埋め込まれたたくさんの思想とたくさんの仕掛けを見つけていくのも楽しい読み方でしょう。不思議な推理小説です。

## 名作(1・2)

夏目房之介  
潮出版社

夏目漱石の孫が贈る古今東西の名作の漫画版。一話3分、二冊で52編の名作が読める！ ただし、わかるかどうかは別問題だけどね。そうそう、正しく理解できるかどうか、やっぱり別問題ね。正しい文学史の知識が身につくかどうか、別・問・題。



## 日本文学全集

清水義範  
実業之日本社

同じくパロディーでもこっちは清水義範のもの。彼の書いた『世界文学全集』（集英社）とあわせて読むともっと面白い。源氏物語の講義を繰り返すうちに自分と六条御息所を同一視してしまう古典の教師なんてのは、笑えます。ちなみに、「六条御息所」を「ろくじょうごそくしよ」なんて読まないでくださいよね。もっとも、この文章をパソコンで書くためには「ろくじょうごそくしよ」と入力しないと変換してくれないのですけどね。ところで、この2冊、出版社が違うのに装丁が同じなのね。これからしてすでにパロなんでした。

## カント・アン ジェリコ

高野史緒  
講談社

一時はやったカストラートもの。サイバー・パロックの電話魔が18世紀のルーブル宮を駆け巡るといふ、読んでみないことには何が何やらわからない、とてつもなくシュールな音楽冒険小説。ところで、何で18世紀に電話が出てくるのでしょうかねえ？ 同じ著者の『ムジカ・マキーナ』（新潮社）は、19世紀のリンツとウィーンとロンドンを股にかけてブルックナー教授が機械の音楽の謎を解く物語。シュトラウスも出てくる！ ブラームスも出てくる！ とにかくシュールな小説です。





## 指輪物語

J.R.R.トールキン

瀬田貞二訳

評論社文庫

(全6巻)

地球がまだ「ミドル・アース」と呼ばれ、人が魔物や妖精たちと共にあった遙か昔のお話です。人類の古い記憶のなかに伝承として残っている『指輪戦争』のこの顛末が語られています。それは、恐ろしい魔力を秘めた指輪をめぐる冒険と友情の物語です。私が読んだ評論社文庫版では、全6巻、2000頁を優に越えますが、それが苦になることは絶対にありません。一冊の書物のなかに、夕映えの海、満天の星、夜明けを待つ大地に匹敵しうる世界があることを実感できるはずです。たまされたと思って、ぜひ手に取ってみてください。



### かわいい女・ 犬を連れた奥 さん

アントン・チェーホフ著 小笠原豊樹訳  
新潮文庫

19世紀ロシアの生んだ最高の作家の一人であるチェーホフの代表作。どちらも決して長くありませんが、いつまでも心に残る小説です。ロシア語を勉強した人は、この名訳と原文を対照しながら読むと、お話の中身と原語の美しさを同時に味わうことができ、2倍楽しめると思います。

### マルテの手記

リルケ  
新潮文庫、岩波文庫  
ほか

20歳のころに出会って大好きになった本です。今でも大好きです。私が読んで感動したのは、高安国世訳（講談社文庫）なのですが、絶版になって久しいようで、少し残念です。

### 聡明な女は料理がうまい

桐島 洋子著  
文春文庫

男女を問わず、自分の食べたいものを食べたいように作れるかどうかは、単なる技術の有無という以上の意味を持っているような気がします。この本は、おいしいものを作ること、食べること、食べさせることがどれほど楽しいかを教えてくれます。料理を家族任せにしている人、どうも苦手だと思っている人も、自分でやってみたくなること請け合いです。題名だけで敬遠しては、絶対に損！

## 火車

宮部 みゆき著  
双葉社  
(文庫もあります)

数年前のベストセラーですから、自己破産を題材にしたこわ〜いこわ〜いお話だということはご存じでしょう。テレビドラマで見た人もいるかもしれませんが、無理に縮めた感じで今一つだったと思います。(財前直見のヒロインはよかったですけど。)原作の方がずっとよいです。ただ、読みはじめると途中で止めるのが大変ですので、後期試験などが終わってからにした方がよいと思います。また、こういう本を社会に出る前に読んでおくと、道を誤らなくてすむ、という効果もあるかもしれません・・・。

## みみをすます

谷川 俊太郎著  
福音館書店

漢字を一切使わずに書かれた6編の長詩が収められています。谷川俊太郎の詩はどれも、日本語が母語でしあわせ、と思わせてくれるものばかりですが、この詩集はふだんあまり詩というものを読まない人にもおすすめです。

## 外国人が日本語教師によくする100の質問

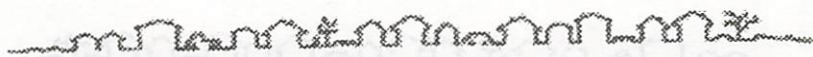
酒入郁子ほか著  
バベル・プレス

「新宿に行く」と「新宿へ行く」はどう違いますか？「もっと高い」と「ずっと高い」はどちらが高いのですか？「うれしい」と「楽しい」の意味の違いは何ですか？・・・などなど、日本人ならほとんど無意識に（あるいは結構いい加減に）使っているような表現のなかには、日本語を学ぶ外国人にはわかりにくいものがたくさんあるのです。この本はもととは日本語教師用にこのような外国人がよくする質問に対する解説例を挙げている本ですが、皆さんが読んでみてもきっと「へ〜」と思う発見があるはず。たまには、普段無意識に使っている自分の言葉（日本語）を「ある外国語」として客観的に見直してみることが大切です。将来、国際結婚を予定（希望）している方には必携の本でしょう。

## 女には向かない職業

P.D.ジェイムズ  
ハヤカワ文庫

こちらはミステリーです。最近、女性作家による女探偵（とか女検屍官）ものが本屋さんに溢れていますが、この本はその「女探偵」の元祖とも言えるヒロインを世に送り出した文学の香りさえる傑作です。「女探偵もの」のおもしろさは、（ミステリーの質に関してはきつといういろいろ好みというものがあるのですが、）小説のどこどこでリアルに描かれている、働く女性の悩みとか、自立する女性の心理とかにあるのでしょうか。まあ、職業は「私立探偵」という少々突飛なものではあるのですが...



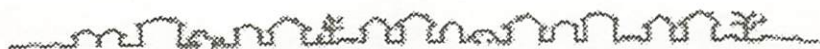
## 中国文明の成 立

松丸道雄・永田英正  
著

講談社 2200円

新石器時代から始まり、殷、周、秦、そして漢王朝までの中国古代史を扱った、一般向けの解説書です。頁を開くと、半分以上が、図版や写真で、まるで「中国古代史絵本」のようです（といっても漢字はたくさん使われていますが）。使われている図版も、最近の考古発掘で得られた文物が多く、資料としては一級品ばかり。古代中国をよりリアルに感じさせてくれます。





## 渡辺壮の宇宙 人

福島 智著

素朴社

もし宇宙人と遭遇したらどうしますか？逃げる、話しかける、それとも触る？コミュニケーションの方法は沢山あります。相手に何か伝えたい時は「伝えたい」と思う気持ちが大切です。でもそれだけでは伝わらない。相手が「わかろう」とする気持ちがあって初めて伝わります。卒業後、色々な人と出会うと思います。今まで会った事のない人に遭遇したとき・・・そんな時の何かのヒントになればと思います。途中難しい話もあるけれど楽しい話がいっぱいのエッセイ集です。

## 眠れぬ夜の 小さなお話

原 由子著

角川文庫

サザンオールスターズの原由子さんがお子さんのために書いた絵本です。「ほっ」と一息つきたいときに・・・なんとなくほのぼのの出来ると思います。なぜ猫が猫舌なのか！この本を読めばわかります。（私がサザンのファンと言う訳ではなく、只の猫好きなだけです）



